

# (仮称)歴史と未来の交流館建設 スケジュール見直し

12月定例会は、1日に開会し、11日から13日の3日間に一般質問を行いました。また、14日と15日には予算決算委員会を開催し、補正予算の議案について審査を行いました。20日には追加の補正予算が提出され、臨時の予算決算委員会を開き、審査を行いました。

同日に議案審議を行い、村長から提出さ

れた議案等19件、発委1件を可決し、発議\*1第3号「(仮称)歴史と未来の交流館建設検討特別委員会の設置に関する決議について」を賛成少数で否決しました。また、建設農政委員会に付託されていた請願第29-3号「自治会集会所の新設に係る請願」も審議を行い、賛成少数で不採択としました。

昨年3月議会において、交流館実施設計費予算として7,400万円が計上、可決されました。ただし、「広く村民の理解を得られるよう努めること」とする決議を全会一致で採択し、執行部はその方向で取り組んできました。

それをふまえて12月議会では、交流機能を重視した実施設計を今年度と来年度の継続事業とする補正予算が出されました。平成29年度は1,423万円執行し、継続事業として平成30年度予算額5,977万円を可決しました。

また、(仮称)歴史と未来の交流館建設検討特別委員会の設置を求める発議\*1が提出されましたが、賛成少数で否決しました。



歴史と未来の交流館建設計画について説明会が開かれました

## \*1 発議とは

議会の会議において、議員が議事の対象となるべき問題を議長に提出して審議を求めること。